

2023年

3/25 (土)

6/11 (日)

月曜定休

## ブルターニュの光と風 画家たちを魅了したフランス〈辺境の地〉

豊かな自然と独自の文化を持つことで知られるフランス北西部の地、ブルターニュ。この地に魅了された画家たちによる作品を通じ、同地の歴史や風景、風俗を幅広くご紹介する展覧会です。深緑の海や険しい断崖が連なる海岸線、平原と深い森とが織りなす固有の景観、また、そこに暮らす人々の慎ましい生活と敬虔な信仰心は、19世紀初め以来、数多くの画家たちの関心を掻き立ててきました。本展では、ブルターニュに関する作品を多数所蔵するカンペール美術館の作品を中心に、45作家による約70点の油彩・版画・素描を通じて、フランス「辺境の地」ブルターニュの魅力をご覧ください。



アンリ・モレ《ポン＝タヴァンの風景》1888-89年頃 油彩・キャンヴァス 39.5×59.5cm カンペール美術館 Musée des beaux-arts de Quimper, France

休館日 6/12-6/23

2023年

6/24 (土)

9/10 (日)

月曜定休  
(ただし7/17は開館)

## 生誕100年 山下清展 ー百年目の大回想

2022年に生誕100年を迎えた山下清(1922-1971)は放浪の天才画家として知られており、懐かしい日本の原風景を貼絵で表し、多くの人々の心を捉えました。本展では、49歳で逝去するまで創作活動を続けた山下清の生涯を、子供時代の鉛筆画から、日本全国を放浪して着想を得た貼絵、さらに油彩や陶磁器、ペン画など多様な作品によって辿ります。山下清はドラマや映画を通じて広く知られていますが、繊細でナイーブだった本来の人柄や、誠実に制作に取り組んだ芸術家としての真実の姿を改めてご紹介します。



山下清《長岡の花火》1950(昭和25)年、貼絵、53×75cm、山下清作品管理事務所 ©Kiyoshi Yamashita / STEPeast 2022

休館日 9/11-10/16

2023年

10/17 (火)

2024年

1/21 (日)

月曜定休  
(ただし1/8は開館)

※年末年始休館 12/28~1/3

## ゴッホと静物画 ー伝統から革新へー

当館が所蔵するフィンセント・ファン・ゴッホ《ひまわり》を中心に、約20点のゴッホによる作品と約50点の他作家による作品で構成される静物画の展覧会です。17世紀から20世紀初頭までのヨーロッパの静物画の流れの中にゴッホを位置づけ、ゴッホが先人達から何を学び、それをいかに自らの作品に反映させ、さらに次世代の画家たちにどのような影響をあたえたかを探ります。また「ひまわり」に焦点をあてたコーナーを設け、ゴッホや同世代の画家たちによる「花」や「ひまわり」を描いた作品を紹介し、なぜ彼らがこの主題を描いたかを探ります。



フィンセント・ファン・ゴッホ《アイリス》1890年、油彩・キャンヴァス、92.7×73.9cm  
ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム(フィンセント・ファン・ゴッホ財団)  
Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

休館日 1/22-2/16

2024年

2/17 (土)

3/10 (日)

月曜定休

## FACE展2024

第12回目となる現代絵画のコンクール展です。「年齢・所属を問わない新進作家の登竜門」として、全国より応募された作品から入選・受賞した作品を展示します。様々な技法やモチーフで時代の感覚を捉えた「真に力があり、将来国際的にも通用する可能性を秘めた」作品をお楽しみください。観覧者投票によるオーディエンス賞も授与します。



# SOMPO美術館

050-5541-8600 (ハローダイヤル) <https://www.sompo-museum.org/>

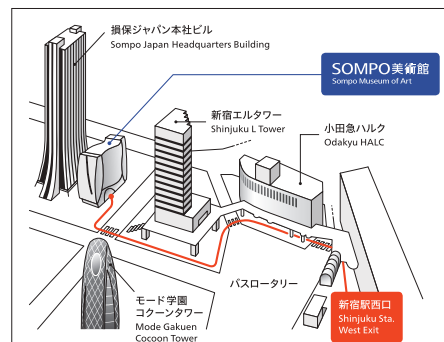
所在地: 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

開館時間: 午前10時~午後6時(最終入館は閉館30分前まで)

休館日: 月曜日(祝休日の場合は開館)、年末年始、展示替の期間

観覧料: 展覧会により異なります。

◆展覧会名、会期、開館時間等が変更となる場合がございます。最新情報はハローダイヤルまたは美術館ホームページにてご確認ください。



新宿駅西口より徒歩5分